

令和元年 7月 3日、高槻市立冠小学校のおおさか元気広場を訪問しました。

今回は、三宝メディカルによる出前プログラム「走り方教室」を実施しました。

## 子どもたちが嬉しそうに集まります！

今回は 4年生から 6年生の 16名の子どもたちが参加しました。みんな笑顔で集まり、始まるまで宿題をする子、友だちとおしゃべりする子、ボランティアの大人と親しくおしゃべりする子などもあり、みんなが放課後子ども教室を楽しみにしていることが伝わってきました。

## たくさんの大人が子どもの活動を支援する

高槻市立冠小学校放課後子ども教室では、コーディネーターの方や、子どもたちの活動を見守って下さる安全管理員さんは、元 PTAの方や、現役の PTAの方が中心です。無理なく可能な範囲で参加するという形であるため、今回も 10名ほどの方が、自主的、積極的に参加されていました。

子どもたちとの距離はとても近く、子どもたちが安心して大人と交流できていることがわかります。また、ボランティアの方は、「雰囲気がよく、ここが私たちにとっても一つの居場所になっています。」とおっしゃっていました。

たくさんの大人の方に見守られているから、子どもたちは、安心、安全に活動を楽しむことができるんですね。

## 三宝メディカルによる出前プログラム

三宝メディカルより院長の畑さんに来ていただいて、子どもたちだけでなく、大人も一緒にプログラムを実施していただきました。また、学校の先生方が多数見に来られていました。



### ○腕の振り方

腕の振り方を教わりました。なぜ大きく振る方が良いのか、わかりやすく説明しながら、子どもたちの振り方をチェックします。少し慣れたら歩きながら振る練習をして確認します。

### ○足の上げ方

足の上げ方を教わりました。足の動きに関して、つい前に出すことばかりに意識がいくものですが、その時に足を上げることが大切です。この意識付けを丁寧に教えていただきました。



### ○楽しく走る

練習の後は鬼ごっこやリレーをして、走ることを楽しみました。ここで教わったことができているならば、身についたといえますが、すぐには難しいようです。しかし、子どもたちは最高の笑顔で楽しんでいました。



### ○畑さんの言葉

- ・続けることが大切
- ・「自分は速い」と自信をもつこと
- ・大人が楽しんでいる姿が子どもたちに良い影響を与える